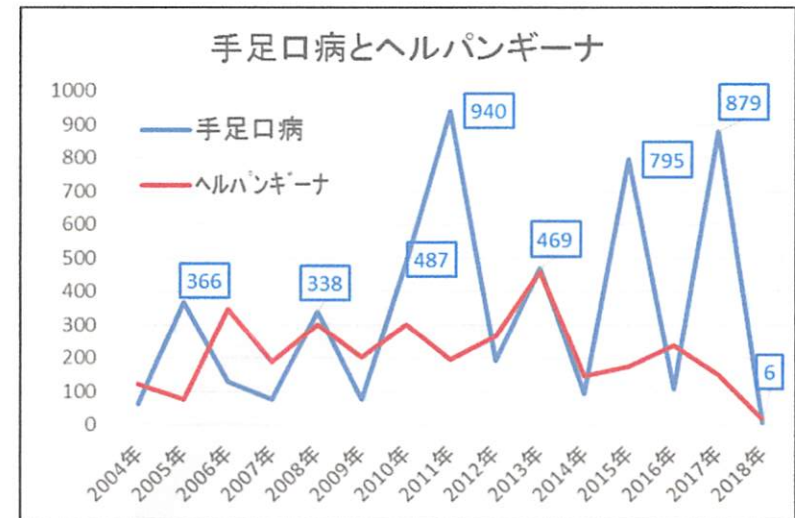


# 週間感染症情報

2018年21週 2018年5月21日より2018年5月27日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	11
手足口病	1
ヘルパンギーナ	8
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	52
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	7
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	1
インフルエンザA	1
インフルエンザB	
ヒトメタニューモウイルス	

感染症は少ないです。週末に小学校の運動会があり、小学生が体調を崩して受診します。  
 ヘルパンギーナが増えてきました。今年は、典型的な症例は少なく、エンテロウイルス感染症と思われる発熱、発熱と発疹の症例が多いです。これから、手足口病やヘルパンギーナなどいわゆる夏風邪(エンテロウイルス感染症)が流行します。  
 嘔吐・発熱で発症してぐったりして受診する例もありますが数日で解熱して元気になります。  
 嘔吐を主とするウイルス性の胃腸炎を見かけます。ノロウイルスが市内小学校で3例、アデノウイルス陽性例1例は、倉敷市の保育園児でした。  
 伝染性膿痂疹の例が増えてきました。  
 溶連菌感染症とアデノウイルス感染症の報告が多く、市内で流行しています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)